

インナー大会プレゼン部門 2016 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学・学部・所属ゼミナール名（フリガナ）		
フリガナ）カナガワダイガク	フリガナ）ケイエイガクブ	フリガナ）コクサイケイエイガッカ
神奈川大学	経営学部	国際経営学科

※チーム名は参加申込書に記入した名称を記入してください。

チーム名（フリガナ）	代表者名（フリガナ）	チーム人数 （代表者含む）	PPT 動画 （有・無）
フリガナ）コクサイコウリュウ	フリガナ）ヤス ツヨシ	5	無
国際交流	安 剛志		

研究テーマ（発表タイトル）

Expand your horizon ～留学の更なる選択肢をあなたへ～

※必ず＜企画シート作成上の注意＞を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要（目的・狙いなど）

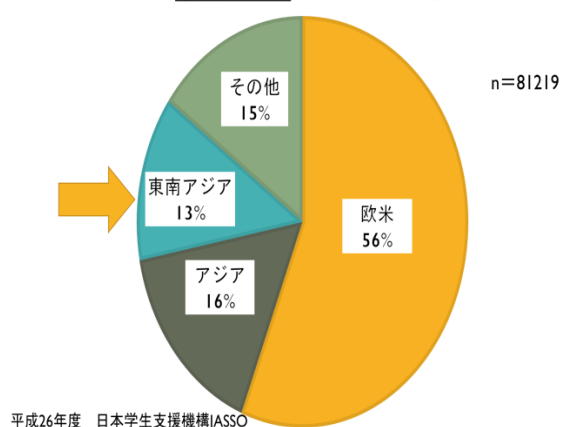
私たち国際交流班は、多数の日本企業が進出している東南アジアへの日本人留学生数を増やすことで、彼らがその国の文化、人柄、生活や宗教などについての異文化理解が期待できると考えた。そうすることで、現地の人々と今後さらに親密な関係を築くことができ、日本企業の東南アジア進出の増加に繋がることを私たちの目的とし、それを果たすために活動し、研究成果発表を行う。

2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

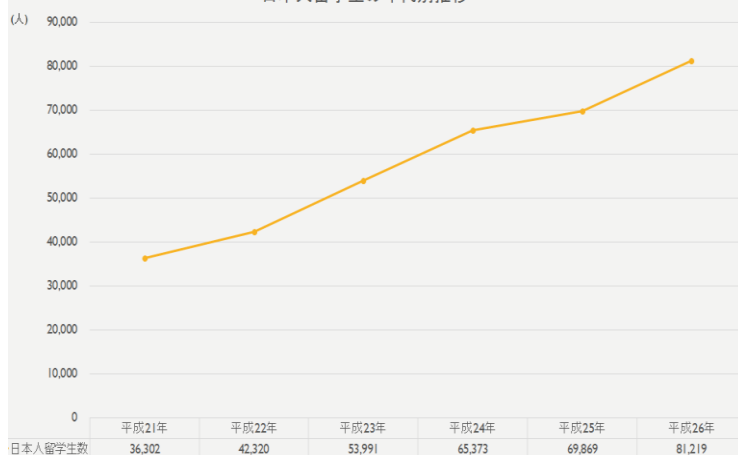
東京オリンピックが 2020 年に控えグローバル化が進む現在、日本人留学生者数は、平成 24 年度、約 6 万 5000 人、平成 25 年度、約 7 万人、平成 26 年度には、約 8 万人と年々増加している。

やはり、留学先の 5 割以上が欧米と偏りがみられる。一方で、同じ英語圏にも関わらず、留学費用が欧米の 4 分の 1 で済む東南アジアは、全体の約 13%にとどまっている。

日本から東南アジアに行っている留学生数



日本人留学生の年代別推移

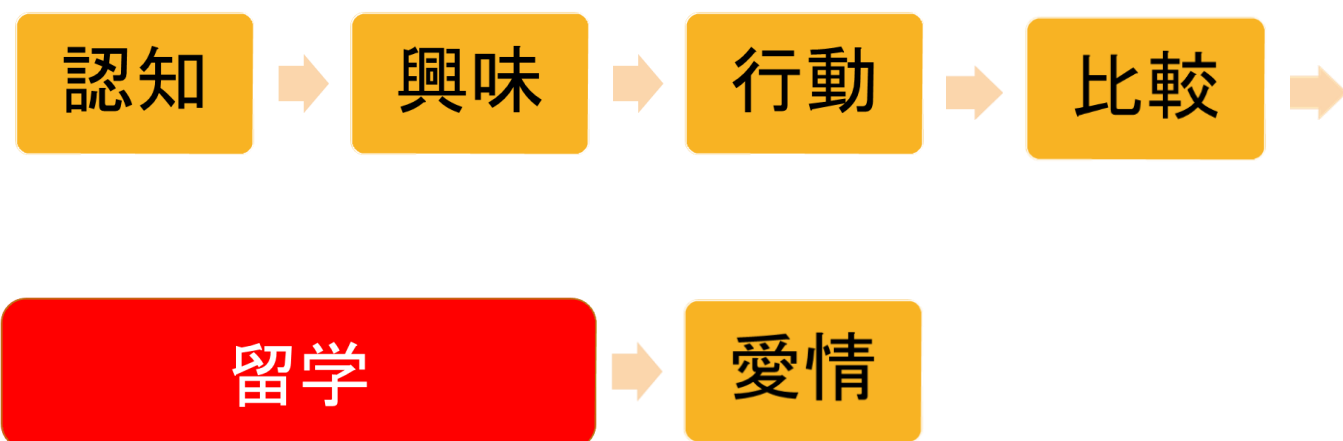


3. 研究テーマの課題

私たちは、グループの3人が東南アジアのマレーシアに1年間留学に行き英語と経営学を学んだ。その時、日系企業やそこで働いている日本人を多く見かけた。しかし、私たちの他に日本人留学生をあまり見かけなかった。帰国後、東南アジアで学ぶ日本人留学者数を調べたところ、全体の約13%だった。英語を話す人の約7割が話しているグロービッシュを学ぶことができ、日系企業も多く進出している東南アジアに日本人留学生が少ないのはなぜか疑問を持った。私たちは、認知不足が東南アジアへの留学生数の少なさに関係しているのではないかと考えた。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

認知、興味、行動、比較、購買、利用、愛情という7つの関門に分け、商品・サービスを「知って、買って、使って、ファンになる」という流れにモレとムダを徹底してなくすマインドフロー『実践顧客マーケティング戦略』佐藤義典(2015)という理論を用いた。その中で認知、興味という関門に絞り、情報発信の場を設け中高生に東南アジア留学について認知させるのと同時に東南アジアという国々に興味を持ってもらうことで留学生が増加していくと考えた。そこで中高生をターゲットに東南アジアとつながりのある企業と交流会を開催することとした。交流会の内容は、東南アジアについてのプレゼンテーションを私たちで行い、東南アジアの方を招いて日本人学生と一緒にゲームやトークで異文化に触れてもらうことにより興味、関心を持ってもらう。私たちは、購買、利用の関門を留学に置き換えてそこを私たちのゴールと考え、この課題解決に努めた。

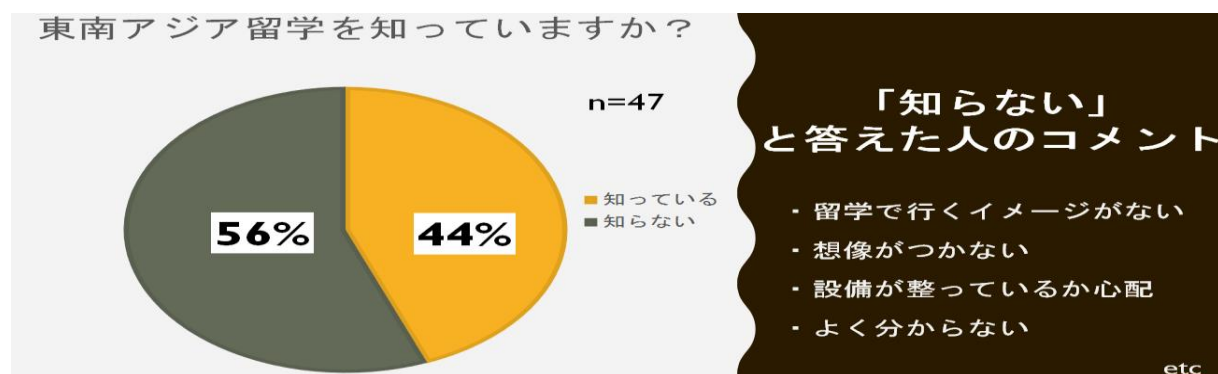


5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

神奈川大学のオープンキャンパスに来た高校生47名を対象に留学についてのアンケート調査を行った。

①留学といえばどのような国を想像するか②留学の目的③東南アジア留学を認知しているか④東南アジア留学したいか⑤東南アジアに対するイメージ

質問項目は上記5項目となった。アンケートの結果、東南アジア留学を知っていると答えた高校生は44%にとどまり知らないと答えた学生は「留学に行くというイメージがない」などという回答をしていた。



活動内容は、神奈川大学付属高校と ASEAN センターに、企画書を作成し私たちの目的と交流会の内容を提案した。神奈川大学付属高校は、前向きに検討していただいていたが、年間予定が決まっており、今年度中の実施は困難となってしまった。ASEAN センターでは、私たちが企画したワークショップに賞賛していただいたが、ASEAN センターの方針で、プログラムに外部の私たちが関与するのは、学校側の承諾を得ねばならないので困難となった。

6. 結果や今後の取り組み

東南アジアと関係のある企業に連絡し交流会を開催する旨を伝え、ご協力して頂ける企業や大使館の提案先を検討中。高校生は東南アジアについて認知不足である一方、東南アジアを認知している人の多くは東南アジアに留学したいという回答が多かった。以上のことから認知・興味の向上により留学の選択肢の一つに東南アジアが選ばれ、東南アジアへの留学生数の増加が実証された。

7. 参考文献

- ・外務省海外在留邦人統計 <http://www.mofa.go.jp/mofaj/files/000162700.pdf> 2016/07/07
- ・JETRO 物価ウォッチング調査 https://www.jetro.go.jp/world/business_environment/bukka.html 2016/07/12
- ・ウェブマガジン『留学交流』2016 年 5 月 Vol.62
http://www.jasso.go.jp/ryugaku/related/kouryu/2016/_icsFiles/afieldfile/2016/05/02/201605haisa_akihiro.pdf 2016/07/07
- ・留学ジャーナル <http://www.ryugaku.co.jp/cost/smart.html> 2016/09/27
- ・マレーシア格安留学情報 http://www.m-ryugaku.com/why_malaysia 2016/09/27
- ・『実戦顧客倍増マーケティング戦略』佐藤義典 日本能率協会マネジメントセンター (2015 年 4 月)
- ・独立行政法人日本学生支援機構 JASSO 提供データ『日本学生留学状況調査』2016 年 6 月

インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項

<企画シート作成上の注意>

- ※本企画シートは審査の対象となります。
- ※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1 チーム・1 点提出してください。
- ※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1～7 以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。
- ※本企画シートは、インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、3 ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4 サイズでプリントし、3 ページ目までをお渡しします。
- ※大会参加申込み時点から、「参加メンバー」の変更があった場合、上記「インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項」に記入してください。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。
- ※企画内容は、未発表の（過去に他誌・HP などに発表されていない）ものに限ります。ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。
- ※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経 BP 社・日経 BP マーケティング社は一切の責任を負いません。
- ※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Web サイト上の資料を利用した場合は、URL とアクセスした日付を明記してください。
- ※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。